



Bom dia!! Moçambique



2024年5月13日

江戸川区立二之江中学校 主任教諭 田浦 秀一郎
(海外青年協力隊 モザンビーク派遣)

【第2回 モザンビークの言語について】

こんにちは、みなさん。日本ではゴールデンウィークが終わり、そろそろ運動会の準備が始まる頃でしょうか。こちらのモザンビークの学校では、現在1学期が終わり、2週間ほどの少し長い休みに入っています。祝日の話でいえば、モザンビークの祝日は、日本ほど多くなく、ゴールデンウィークのような祝日が連続してある時はありません。どうやら、日本の祝日は、世界的にみても非常に多いみたいですね。

さて、今回のモザンビーク通信では、モザンビークで使用されている言語についてお話ししたいと思います。このお便りの題名に使用している「Bom dia」という言葉、モザンビークでよく使う言葉なのですが、発音の仕方や意味を知っていますか。カタカナで表すと「ボン ディア」と発音します。もしかしたら、聞いたことがある人もいかもしれませんね。この言葉の日本語の意味は、「おはよう」です。みなさんが習っている英語の「Good morning」と違いますよね。つまり、モザンビークは英語ではない言語、「ポルトガル語」という言語が一般的に使われている国になります。

「ポルトガル語」は、ポルトガルはもとよりモザンビーク以外にもブラジルなどの国で使用されている言語です。ここで「ポルトガル語」を少し紹介するので、ぜひ覚えて、今後機会があれば使ってみてください。ちなみに、ポルトガル語の基本的な発音は、ローマ字読みに近い発音です。

Bom dia(ボンディア):おはよう
Boa tarde(ボアタルディ):こんにちは
Boa noite(ボアノティ):こんばんは
Ola!(オラ):やあ!
Até já!(アテジャ):またあとでね!
Tchau(チャウ):じゃあね、バイバイ

Como esta?(コモエシュタ):気分はどう?
Obrigado(オブリガード):ありがとう
Vamos!(バアモス):さあ、やろう!
Parabéns!(パラベンス):おめでとう!
Desculpe(デシュクルピ):ごめんなさい
Força!(フォルサ):がんばれ!

また、この国には、ポルトガル語以外にも、昔から使われてきた言語(部族で使用されてきた言語:現地語)が多く存在します。私が住んでいる地域でもシャンガナ語、マロンガ語という現地語がポルトガル語と一緒に使われていて、一般家庭では現地語で会話をすることも多くあります。そのため、子供たちは小学校2年生までは、現地語で学習を行い、小学校3年生からポルトガル語を学び始めるのだそうです。さらに、年をとっているモザンビーク人は、ポルトガル語を学んでいないこともあるため、現地語だけでしか会話ができないことがあります。

そして、現在、この国の子供たちは、小学校6年生から英語、高校1年生からフランス語というように色々な言語を学びます。そのため、しっかりと教育を受けた大人は、現地語を含めると4つの言語を話すことができ、イスラム教徒の人は、アラビア語も知っていたりするため凄いなあと驚いています。

今回、モザンビークの言語についてお話ししましたが、私がこの国にきて強く思ったことは、この国でも英語を学ぶ授業があり、やはり英語は、世界の共通言語になりつつあるんだなということです。私自身も英語は苦手だったので、英語の勉強が大変だというのはわかりますが、身に着けると世界が広がるんだなと今感じています。ぜひ、みなさんも頑張ってください！Força!!